

星を見る会

ねん がつ にち にちようび
2017年3月5日（日曜日）

げつめんエックス み
「月面 X を見よう」

はる とうらい つ はるいちばん ふ てんき すうじつ か
春の到来を告げる春一番が吹き、天気の数日おきにか
わるようになりました。まだまだ寒
い季節が続いていますが、春はすぐそこまで来ています。

しゅんぶん す ひらつか かくち ふじさん ちようじよう たいよう かせ
春分を過ぎると、平塚の各地では富士山の頂上と太陽が重なる、ダイヤモンド富士が
みられるようになります。富士山のちょうど頭の上に太陽の日は、ほんの1~2日だ
けです。その前後数日は、富士山の影が動く様子確かめることができます。

おも かんそくばしよ み じき した ひよう とお み ばしよ きた みなみ じよじよ いたう
主な観測場所と見える時期は下の表の通りです。見える場所は北から南に徐々に移動
していきます。ぜひ注目してみましょう。

場所	春に見えるとき	秋に見えるとき
金目川と観音堂	3月27~28日	9月15~16日
七国峠・遠藤原	4月5~6日	9月6~7日
湘南平	4月4~5日	9月7日
平塚海岸	4月6日	9月5~6日
馬入大橋周辺	4月2日	9月9~10日
花菜ガーデン	3月26~27日	9月16日
湘南銀河大橋	3月27~28日	9月15~16日

参考：ダイヤモンド富士 関東の富士見百景

平塚市博物館

☆星空の地図：星図の見かた☆

星図は、あかるい星は大きく、くらい星は小さく書いてあります。東をむいて立つときは、図の「東」を下に、西をむいて立つときは「西」を下にしてもちましよう。星図の縁のまるい線が地平線、まるのまん中が頭の真上（天頂）です。

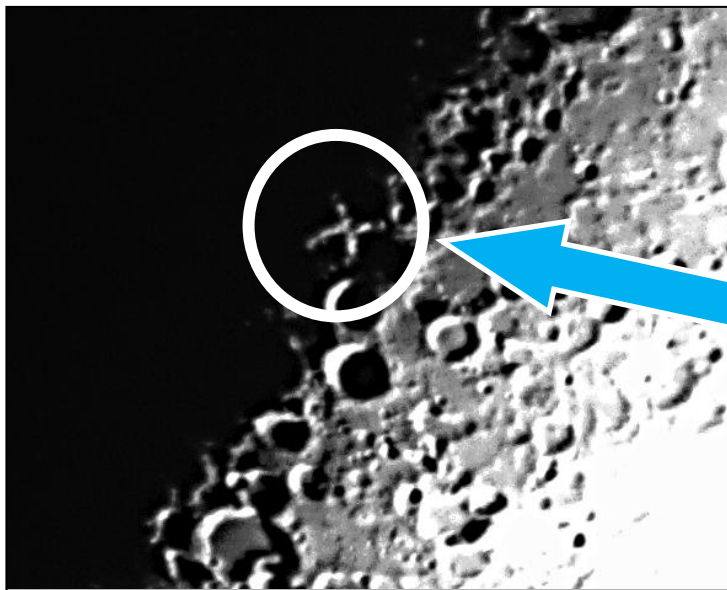
月面Xを見よう

月面Xとは、月の地形と太陽の光の関係で、月面にアルファベットのX字形の模様が見られる現象のことです。月の欠けぎわは、地球でいえば夕方や明け方のように太陽の光が低いところから当たっている場所になります。そのため、地形の影が長く伸び、凹凸がよくわかります。このとき、クレーターのふちのてっぺんだけが照らされるとこのような模様が見えることがあるのです。月面Xは**ブランキヌス**、**ラカイユ**、**プールバツハ**の3つのクレーターのふちによってできた地形です。

2004年にカナダのアマチュア天文家が初めて気づいたといわれています。毎回数時間しか見ることができず、年に数回しか見ることができない珍しい現象です。

2017年に見られる月面X	
3月5日	19時半前後
5月3日	19時半前後
7月1日	18時半前後
8月29日	18時半前後
10月27日	20時半前後
12月26日	0時半前後

参考：山田陽志郎氏ホームページ
<http://lv1.uni.web.fc2.com/tuki/moon-x.html>



望遠鏡で倍率を上げて見た月面X（丸の中）



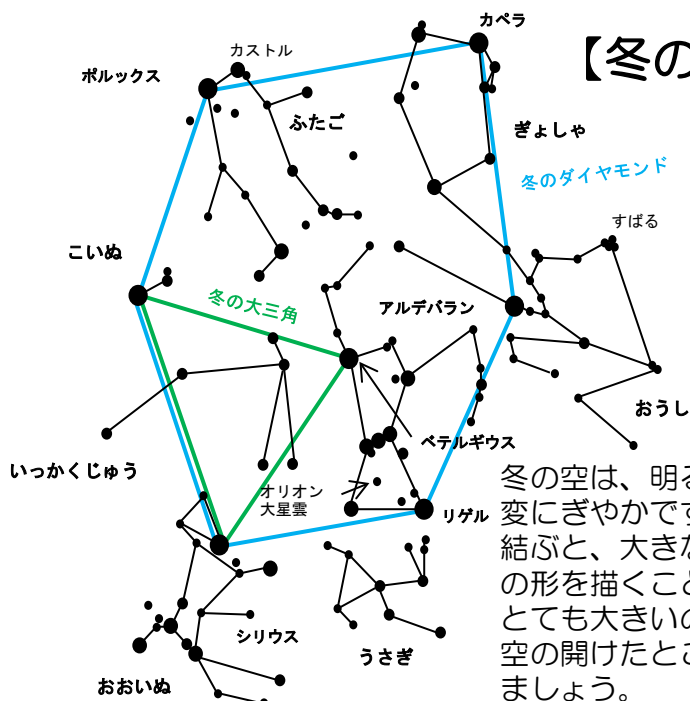
半月前後は、月のクレーターが密集する場所と欠けぎわが重なり、クレーター観望が楽しめる時期です。個性豊かなクレーターの世界も、合わせておたのしみください。

【金星の見え方】



3月5日19時の金星の見え方

金星は、地球よりも太陽に近いところを回っているため、月と同じように満ち欠けをします。今、金星は徐々に地球に近づいているため、三日月のように非常に細く欠けて見えます。3月中旬以降は太陽の近くへ移動し、見えなくなります。



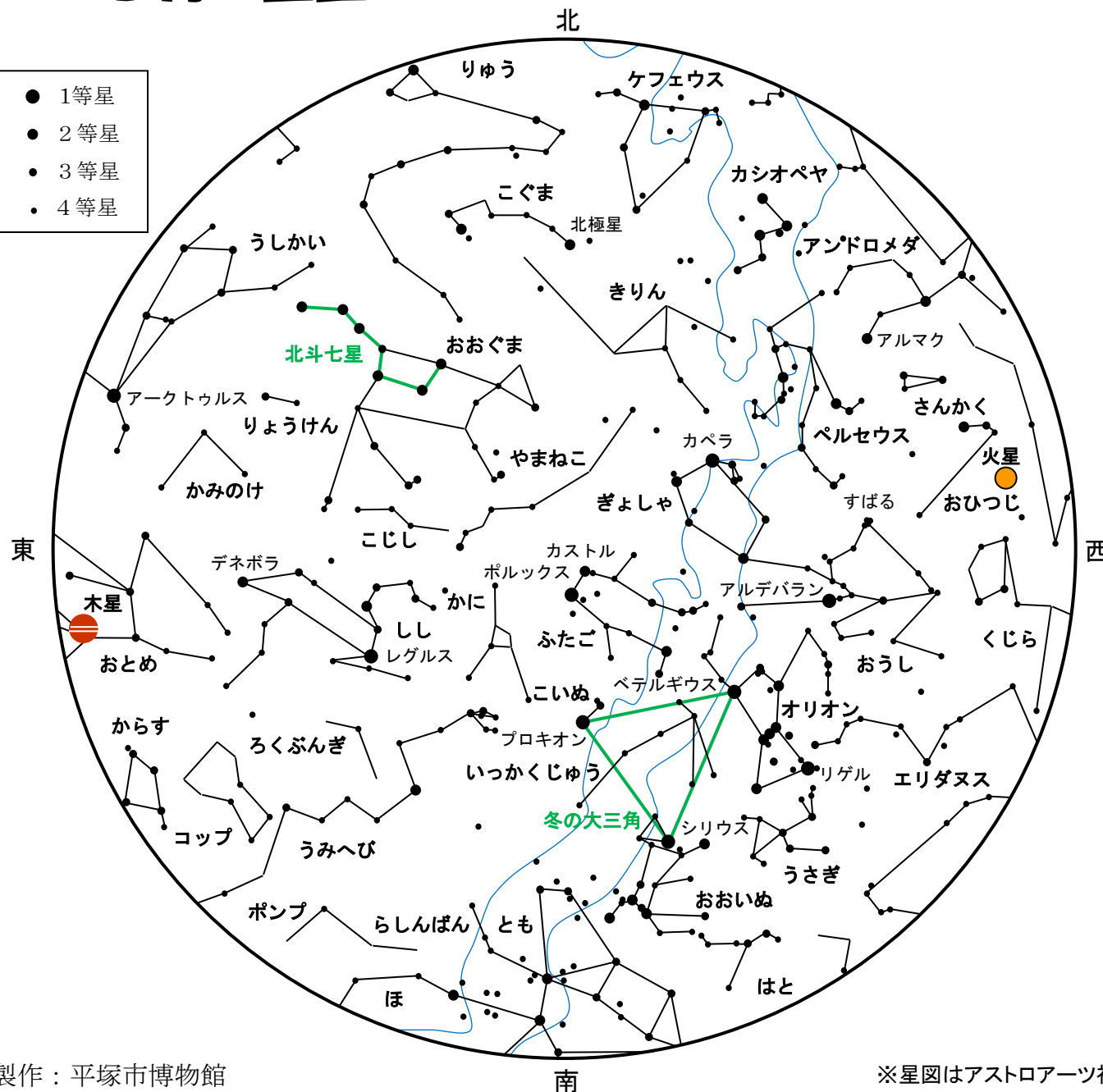
【冬の星たち】

冬の空は、明るい星が多く大変にぎやかです。明るい星を結びと、大きな三角形や宝石の形を描くことができます。とても大きいので、なるべく空の開けたところで探してみましょう。

☆☆3月の星空☆☆

○●3月の月・惑星●○

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星



月: ●上弦 → 5日(日)
 ○満月 → 12日(日)
 ●下弦 → 21日(火)
 ●新月 → 28日(火)

惑星
 水星: 太陽に近くほとんど見ることはできません。
 金星: 上旬まで、夕方西の空低く見ることができます。
 火星: 夕方西の空低く見ることができます。
 木星: ほぼ一晩中見ることができます。
 土星: 夜半過ぎに東の空に昇ってきます。
 天王星: 夕方、西の低い空にありますが、ほとんど肉眼で見ることができません。
 海王星: 太陽に近くほとんど見ることはできません。

この星図は、
 3月 1日頃 21時
 3月 15日頃 20時
 3月 30日頃 19時
 の星空を示しています。

惑星は15日20時頃の位置です。